

走錨していませんか？

冬本番を迎えた北海道では、発達した低気圧の通過の影響で海上が大しけとなる日が多く、これに伴い錨泊船が走錨する可能性も高くなります。

走錨防止に関する情報については、過去の海上安全だよりでもお知らせしているところ、今年は小樽船舶通航信号所職員が走錨船を発見し、情報提供するケースが増加しています。

今後も走錨による海難の発生が危惧されることから、以下の事項についてご確認いただきますようお願いいたします。

基本的事項



- ・気象海象情報の入手と常時把握
- ・国際VHF(16ch)の常時聴取
- ・錨かきの良い錨地の選定
- ・陸岸、障害物、他船との十分な距離の確保
- ・見張り(自船及び他船の位置・錨泊状態)

荒天時の留意事項

- ・守錨当直体制の強化
- ・錨鎖の伸長又は錨泊方法の変更
- ・主機関のスタンバイ
- ・ちちゅうの検討



お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118 (内線2643,2644)

海の安全情報(スマホ) <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/sp/index.html>



海難隻数及び海難による死者・
行方不明者数(速報値)

11月	7隻、0人
平成29年累計	85隻、3人